

6月定例記者会見要旨

初めに、市の誇る民俗芸能、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」についての情報です。

今年の「撞舞」は、7月26日から開催される八坂祇園祭の最終日、7月28日の日曜日に開催されます。時間と場所は例年通り、夕刻から根町の撞舞通りとなります。例年ですと午後6時頃からの演技開始となっております。

また、今年も昨年同様撞舞保存会と観光物産協会が協力して、市内の子どもたちを会場に招待するそうです。撞舞の迫力やその素晴らしさを直に感じ、ふるさとへの愛や市民としてのプライドを高めてほしいと、期待をしているところでもあります。

現在、市役所南側駐車場では、毎週日曜日に本番に向けて熱のこもった練習が行われておりますが、昨年から2人の舞男のほか、新しい舞男候補者も練習に励んでいるとのことですので、今後が楽しみなところですよ。

続きまして、ひまわり迷路大開放&ウォークラリーの情報です。

これは、市内の休耕地を活用して整備したひまわり迷路を、7月19日から22日までの4日間、一般開放するもので、当日は迷路内でのクイズに答えて景品が当たる、ウォークラリーも開催します。

この迷路は、NPO法人バイオライフが市協働事業提案制度の採択事業として取り組んだもので、公募による一般参加者19名の方や馴馬台小学校の3学年児童45名とともに、種蒔き・除草などの栽培工程を含め約3か月間をかけて完成させました。

約3,200平方メートルの休耕地に約18,000本のひまわりが咲き誇る様子はかなり見ごたえがあるのではと思いますが、ちょうど、夏休みが始まるタイミングでもありますので、たくさんのお子どもたちに足を運んでいただいて、

「真夏の黄金迷宮」を楽しんでもらえたらと、考えております。

なお、開催期間中、20日の土曜日・21日の日曜日は、本市農産物等直売所「たつのご産直市場」による出張販売も予定していますので、ぜひご家族そろってお出かけいただき、夏休みの思い出を作っていただければと考えております。

続きまして、「認知症サポーター養成講座」の情報です。

本市では次代を担う子どもたちにお年寄りのことや「認知症」について知ってもらうことを目的に、昨年度から市内の小・中・高校生を対象に、「認知症サポーター養成講座」を実施しております。

今回実施いたします講座は、市内城南中学校生徒を対象としたもので、同校3年生と教師約80人が参加予定となっております。

当日は教材を使用した説明のほか、市職員が認知症の人やその家族に扮し、家庭でのやりとりを寸劇において演じるなど、子どもたちに分かりやすく、認知症の人への接し方をリアルに実感してもらうような工夫をしています。また、ロールプレイにより、認知症の人への接し方を生徒に考えてもらい、実際に対応してもらう参加型の学習も予定しています。

なお、今回の講座につきましては、同校生徒が秋に予定している特別養護老人ホーム訪問の事前学習として依頼を受けたものですので、生徒の皆さんには、しっかり学んでいただいて、施設への訪問の際に大いに役立ててもらいたいと考えております。